

第7回 秩父市未来技術社会実装協議会 議事録（概要）

0. 開催概要

日時：令和6年3月12日（火）15：30～17：00

場所：秩父市役所 本庁舎3階庁議室

出席者 参考資料 第7回秩父市未来技術社会実装協議会 出席者名簿 参照
（配布資料）

【資料1】未来技術社会実装事業に関する最近の動向について（内閣府）

【資料2】栃本ふるさとプロジェクト（株式会社栃ふさ）

【資料3】地域課題を解決する新しい社会インフラ新スマート物流 SkyHub

【資料4】令和5年度 Society5.0 事業の取り組み（秩父市）

【資料5】「デジタルライフライン全国総合整備計画」について（秩父市）

1. 開 会

司会：本日は、お忙しいところ、第7回秩父市未来技術社会実装協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日の進行を担当いたします、秩父市産業観光部先端技術推進課の笠井と申します。どうぞよろしくお願いたします。それでは始めに、秩父市長 北堀 篤よりご挨拶申し上げます。

2. 秩父市長 挨拶

秩父市長 北堀 篤：皆さん、こんにちは。秩父市長の北堀 篤でございます。

本日は、第7回「秩父市未来技術社会実装協議会」の開催にあたり、多くの関係者の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、各関係省庁の皆さまや関係各位にもオンラインでもご参加いただき、ありがとうございます。

秩父市の「デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生推進タイプのソサエティ5.0型）」も今年度で4年目を迎え、今年度は、来年度の社会実装へ向けて、各分野で調整を中心に事業を実施してまいりました。

昨年度、一部プレサービスを行いました共同配送事業は、大滝地域内のラストワンマイル配送を請け負っていただく事業者を選定し、大手物流事業者様の支援も得ながら、来年度の早い段階で事業を展開できる準備が整っております。

また、遠隔医療の分野においても、大滝国保診療所の医師や秩父市立病院の協力体制のもと、新たな診療の形として、オンラインでの診療や栄養指導も大滝地域の住民の方々へサ

ービスとして提供可能な段階でございます。

ドローン配送についても、配送の実現性が高い三峰ルートにおいて、電波調査も済ませており、ドローン配送人材の育成を行ったのち、来年度中には、平常時におけるドローン配送も実現いたします。

このドローンについては、現在、国において「デジタルライフライン全国総合整備計画」という計画の策定が進んでいます。

これは、デジタル時代の社会インフラである「デジタルライフライン」を今後約10年かけて、国が整備を進める計画でして、この中で、秩父エリアは、社会実装に向けた「ドローン航路」整備のための先行地域として名前を挙げていただいています。今月中に計画の閣議決定がなされると、今後ますますドローンに対する秩父エリアの注目度が高まっていくと思われま。このような環境の中で、市としても様々な面で関わっていきたくて考えております。

最後になりますが、ここまで各事業が社会実装に近づいていることは、各省庁や関係事業者様のおかげであり、改めて厚く御礼申し上げます。本協議会を通じ、来年度の各事業の本格実装に向けた有意義な意見交換や議論が行われますことをお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

司会：続きまして、本日現地にてご参加いただいております 内閣府 地方創生推進事務局 参事官の真田 晃宏（さなだ あきひろ）様から、ご挨拶をいただきますとともに未来技術社会実装事業における最新の取組み等につきまして、お願いしたいと存じます。それでは、真田参事官様、お願いいたします。

3. 未来技術社会実装事業の取組報告

内閣府 地方創生推進事務局 真田参事官：内閣府地方創生推進事務局で参事官をしている真田でございます。よろしくお願いいたします。資料1にて説明。

参照：【資料1】未来技術社会実装事業に関する最近の動向について（内閣府）

司会：他の自治体の事例や国の動きについて、大変参考になりました。真田参事官様、ありがとうございました。

4. 新構成員紹介

司会：続きまして、新構成員の紹介に移ります。

恐れ入りますが、配布した出席者名簿または、共有画面をご覧ください。今回の会議が

ら、名簿番号 31 番の「株式会社栃ふさ 代表取締役 丹治洋介 様」、
名簿番号 32 番の「株式会社 NEXT DELIVERY 代表取締役 田路圭輔 様」、が構成員として新たに参加していただくことになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。
Society5.0 事業において、栃ふさ様は、共同配送における大滝地域のラストワンマイル配送を、NEXT DELIVERY 様は、ドローンの機体購入やドローンポートの整備またドローン飛行の人材育成を実施いただく事業者としてご参画いただいております。このあと、両事業者様には、自社での事業についてお取り組み内容をご紹介します。

なお、そのほかのご出席者につきましては、名簿にてご確認いただきますよう、お願いいたします。

司会：次に、座長の選任を行います。

本日の座長として、秩父市長を選任させていただきたいと存じますので、ご承諾いただきたいと思います。

5. 議 事

司会：それでは、議事に入ります。議事の進行は、座長の北堀市長にお願いいたします。

秩父市長 北堀 篤：それでは、議事の（１）「株式会社栃ふさの取り組み紹介」につきまして、株式会社栃ふさ様より説明をお願いします。

株式会社栃ふさ 丹治様：

参照：【資料 2】 栃本ふるさとプロジェクト

秩父市長 北堀 篤：ありがとうございます。説明が終わりました。
質問等は、後ほどまとめて行います。

秩父市長 北堀 篤：続きまして、議事の（２）「株式会社 NEXT DELIVERY の取り組み紹介」につきまして、株式会社 NEXT DELIVERY 様より説明をお願いします。

株式会社 NEXT DELIVERY 近藤様：

参照：【資料 3】 地域課題を解決する新しい社会インフラ新スマート物流 SkyHub®

秩父市長 北堀 篤：ありがとうございます。説明が終わりました。
質問等は、後ほどまとめて行います。

秩父市長 北堀 篤：続きまして、(3)「Society5.0 事業の今年度の取り組み」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

秩父市 先端技術推進課 山中：

参照：【資料4】令和5年度 Society5.0 事業の取り組み

秩父市長 北堀 篤：説明が終わりました。

次に議事の(4)意見交換に入ります。議事(1)から(3)を通じて、ご質問やご意見等がございましたら、ぜひ積極的にご発言ください。発言する方は、挙手をお願いいたします。オンラインで参加している方は、「挙手ボタン」を押してください。

《意見交換》

株式会社ゼンリン上谷さん：貴重なお話ありがとうございました。内閣府の真田参事官様へご教示いただければと存じます。秩父市の山中さんから説明いただいたとおり Society5.0 事業について様々なサービスの社会実装に向けて取り組んでいたところでした。秩父市の大滝地域でどういった内容でサービスを実施していった方がよいか考えてきた中で、社会実装一歩手前まで来ているが、地元企業にご協力いただいたことが大きいと考えている。栃ふささんをはじめ地元の根付いた企業を取り込んだことが、社会実装するうえでの鍵と感じている。その中で他の地域の事例を可能な範囲で、取り組み内容、体制や社会実装へのキーポイントとなる点についてご紹介いただければ。

内閣府 真田参事官：ご質問ありがとうございます。実際、課題や苦勞している自治体は多数あります。上手くいっている自治体については、こういう技術があるから、やってみようではなく、取り組もうとしている課題やニーズが明確である。課題の解決意欲が高い自治体は、技術で解決できない場合は、体制づくりで工夫したり、ゴールに対していろんな面でアプローチをしているといった特徴を感じる。

ドローンの配送だけ単体だと黒字化は難しいので、例えば、コミュニティバスなどは福祉的な役割として自治体が一部費用を負担して事業を動かしている。その事業だけでペイしようという考えでなく、取組にいくつも目的を持たせて、トータルで考える。収支だけみるとマイナスだけど、別の高齢者福祉の目的を持たせて、トータルとしてみた場合、自治体としてよしとするといった視点で実装に走っている自治体も見受けられる。

株式会社ゼンリン 上谷さん：課題の分析が重要で、それに向かって進捗している自治体がうまくいっている自治体であると認識しました。ありがとうございました。

秩父市 山中主査：真田参事官様にご質問させていただきます。資料にあったきずな特区

の話ですが、共同配送を実施していくうえで、物量の問題が限られてくるという問題があります。他の見守り等のサービスを追加しても採算性が厳しいところがあります。例えば郵便の関係では、現在は信書法の規制があります。特区の公募の期限は過ぎてしまっているとのことですが、次回に信書法の特区として申請した場合、郵便局以外での信書の配送の可能性はあるか、現時点での感触でも結構なのでご教示いただければと思います。

内閣府 真田参事官：現時点で可能性がありますがともないですとも言えない状況ですので、持ち帰らせていただいて、きずな特区の担当課に確認したうえで、回答させていただきたい。

秩父市 山中主査：ありがとうございます。ぜひご担当者にお繋ぎいただき、公募等の日程等わかりましたら、ご教示いただけると助かります。

秩父市 笠井課長：秩父市先端技術推進課の笠井です。厚生労働省の社会福祉部医事課の吉本さんに質問させていただきます。うちの事業の三本柱の中で遠隔医療だけ毛色が違うと感じられる方もいらっしゃるかと思います。なんで遠隔医療をやるかというそれはこの事業が、ひととモノの移動の困難さの解決がテーマとなっており、高齢化率が65%を超えるなか、免許返納が進んでおり、だから遠隔医療が必要という流れになっている。今回のオンライン診療の実証という中で、オンライン栄養指導やD to P with Nを実施していますが、秩父地域の医師会と話しをする中で、診療報酬がトリプル改定がある。その改定のなかで、市立病院と大滝国保診療所と今は公的機関で実施しているが、民間に波及していくには、一人ドクターとかの町医者にも情報を伝えていかないといけないと考えている。秩父地域の取組以外で、全国で先進的な事例で民間でオンライン診療が普及している事例があれば、規制面を踏まえた点でご教示いただければ。

厚生労働省医事課：厚生労働省の社会福祉部医事課の吉本と申します。現在持ち合わせている情報がないので、遠隔医療の担当課に確認したうえで、情報共有させていただきたい。

株式会社ゼンリン：ゼンリンの深田です。質問ではなくご参加いただいた各省庁様へのお願いとなります。先ほどから、ビジネスモデルの話が出ており、大滝地域は年々人口が減っており、600人を切っている。マーケットが縮小する中で、サービスを取り入れている世界観では、地域全体で地域の魅力を高めていかないといけない。来年度からはSociety5.0事業に加えて商品開発やブランディングもしていきたい。そこで、中山間地で魅力を高める商品開発について補助メニューがあれば秩父市に情報提供をいただきたい。

内閣府 真田参事官：各省庁にいろいろなメニューがあると思いますので、確認して情報

を収集して共有したい。

秩父市長 北堀 篤：それでは、他にご質問やご意見がございましたら、以上で「議事」を終了させていただきます。引き続き、構成員の皆様におかれましては、来年度もご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、座長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。

6. 連絡事項

司会：皆様のご協力により、全ての議事が終了いたしました。ありがとうございました。連絡事項として、先ほど市長も挨拶で述べていましたが、当市が先行地域に名前が挙げられている「デジタルライフライン全国総合整備計画」について、簡単にご説明させていただきます。資料5「デジタルライフライン全国総合整備計画」をご覧ください。

参照：【資料5】「デジタルライフライン全国総合整備計画」について

3/19に理化学研究所の講演会を実施しますので、皆様のご都合がございましたら、ぜひご参加ください。

最後になりますが、本協議会は、年に2回ほど開催しており、最終年度にあたる来年度も開催する予定でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

7. 閉会

司会：以上で本日の協議会を閉会とさせていただきます。引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。本日は、お忙しい中、ありがとうございました。